

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2013/11/20

Vol.46

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 25 年 第 3 回 印西市議会定例会報告 (2) ～ (続) 北総鉄道の運賃問題について (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第3回定例会(9月議会)は、10月4日(金)迄の会期にて行われ、閉会しました。今回は前回に引き続き北総鉄道の運賃問題を記載します。

9/25(水曜日)に一般質問に立ちました。 以下、マスコミ報道から記載します。

3. 北総鉄道の運賃問題について

☆ 北総鉄道、「公費なしで値下げ可」に反論 2013/10/25 23:30 日本経済新聞

有識者らの報告書で「公費負担なしでの運賃引き下げ維持は十分可能」と結論づけられた北総鉄道(千葉県鎌ヶ谷市)は報告書に対する反論文書をまとめ、地元の印西市、白井市に提出した。沿線の少子高齢化で乗客減が見込まれるほか、金利上昇で有利子負債の負担が重くなると指摘。

報告書について「前提条件に関する合理的な検討が欠落しているばかりか、事実の認識や解釈を誤っている」と反論した。

25日までに北総鉄道の金子賢太郎社長が地元の印西市、白井市の首長に反論文書を手渡した。

北総線は初乗りが最大290円と首都圏の他の私鉄に比べ割高な運賃が問題になっている。現在は運賃を引き下げるために必要な年間6億円の原資のうち、半分を地元自治体が負担している。

反論文書の中で北総鉄道は、2009年に千葉県と北総線の沿線6市、京成電鉄との間に結んだ値下げ合意は「補助金の支給継続を前提に中長期的に運賃を維持する必要性を共通認識としたもの」と言及した。そのうえで「かりに15年度以降補助金の支給が継続されない場合は、基本合意に反する」と補助金継続を強く求めた。

同社は印西市と白井市に年内に結論を出すよう、改めて求めている。

【ぐんじとしのりから皆様へ】この報道の前提として、印西市・白井市で構成された「北総線運賃問題対策協議会」による民間シンクタンクからの「報告書」の存在があり、この報告書の中では、①現状の値下げ幅平均4.6%を維持 ③通学定期のみ大手私鉄並みに50%に引き下げ、その他は現状維持 ④通学定期のみ大手私鉄並みに50%に引き下げ、通勤や普通運賃は可能な範囲で引き下げる。ことが、経営的に実現可能との見解が示されていることが記載されています。

今回の「北総鉄道からの反論」については、私の中では「想定内」です。また、市役所の担当も想定内だと考えられます。それは、私の9月議会の一般質問に対して、以下のように市当局が回答していることも明らかです。

【ぐんじとしのりから市当局への質問】具体的に印西市としては、今後、「報告書」を見て、どのようなことをするのか

【回答/企画財政部長】印西市では、本年9月12日に北総線運賃問題対策協議会から送致された報告書を参考とし、県や鉄道事業者も含めた関係者間で協議し、合意形成を図っていきたいと考えています。

【市当局への質問】 シンクタンクからでてきた報告書を見て、いつまでに印西市では結論を出すのか。

【回答／企画財政部長】 シンクタンクからの報告書は、私どもも参考とすべきだと認識はもっている。

印西市として、議会も含め説明をしたうえで、印西市の考え方を対外的に他の自治体、関係者に示すには年内くらいには印西市の考え方をとりまとめていきたい。

【ぐんじとしのり／議会での発言】 議会のほうにも説明をいただき、合意形成を進めていただきたい

【市当局への質問】 報告書は、千葉県・沿線市と一緒にあって検討すべきではないか。一緒にやることを求めるべきと考えるがいかがか。

【回答／企画財政部長】 9/12 に受領した報告書については、同日付けで白井市、および千葉県および北総鉄道株式会社へ送付している。今回の報告書については、あくまでも委託業者の限られた情報の中での試算であるので、北総鉄道株式会社からの見解の相違、事実の確認、こういうものを取りまとめた上で、データの反証が出揃った上で、関係市に持ち込むべきものであろうと思っている。

それらも含め、年内位を目標にして、1月以降、年度内の3ヶ月間で関係者と合意形成を含めた協議を図っていくといったスケジュールで考えています。

====> このような質疑が9月議会であり、今回の「北総鉄道」からの「反論」があったわけです。

私自身はこれで北総鉄道の考え方がはっきりとし、今後は現状締結している「基本合意」にのっとり、早急に今後は印西市としてどう考えるのか？ 沿線6市としてどうするのかを考え、北総鉄道との交渉の場につき議論するという段階になると考えています。(私は、市当局の考え方の通り、「関係市と歩調をあわせ、交渉のテーブルにつく」という大事な段階だと思っていますので、慎重にコトを進めていくべきだと考えています。決して、コトを荒立てることなく、議論の場を大事に市民のために交渉をお願いしたいと思っています。)

もしも、協議がご破算になった場合、「北総鉄道」としては、値下げ前の価格に戻す可能性もゼロとはいえ、以前にこの紙面で記載させていただいたとおり、市民各位の負担が増えることも考えられます。・・・> 私は、北総鉄道に補助金を出さなくてもいいと思っています。ただ、どうやって現在の「通学定期 25%割引」を継続するのかを代替案が欲しい。たとえば、市が市民に一人一人定期代金を補助金として払うこともありだろう。市民に広報して、一人一人の市民が(以前のように)手続きを市庁舎や支所、出張所で手続きをとって、駅で手続きをする。しかし、パスモは使えるのでしょうか。何よりも市民や市の職員の皆様の負担は確実に増えると思うけれど、それでいいのだろうか？

・・・ 皆様はどのように考えますか？ 私はこのようなことは避けたいと考えています。

平成 26 年度印西市当初予算に向けて ～予算要望を提出しました。

以下の要望を私が所属する会派「新政」(板橋睦・海老原作一・ぐんじ)では、市長に提出しました。

- = 非常勤職員の賃金アップ (保育士等の時給アップ) = 私立幼稚園補助 (保護者への補助)
- = 認可外保育園補助 (保護者への補助) = 家庭的保育事業の拡充 = 理科教育の推進
- = 甲状腺検査の実施 = 有害鳥獣への対策強化 (イノシシ、ムクドリ対策)
- = 学校司書を全小学校への配置 = 通学路 (特に小学校) に対する安全対策の充実
- = 小中学校に対する「洋式トイレ」への改修・増設
(子どもたちの生活形態の変化。及び避難所・防災拠点としての位置づけ～高齢者対策も含む)

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。(紙面の内容についてはお住まいのエリアにより、若干異なっております。)

市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています) 市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり